

# 相互論評で話し上手に

## 上尾のスピーチクラブが4周年 助言し合いし合いの上達

人の話を聞き、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション能力を高めようと、上尾市の市民らが結成したスピーチクラブ「上尾トーストマスタースクラブ」(会長・近藤啓子さん)が四周年を迎えた。毎月の例会でメンバーを前にしたスピーチと相互論評を通じて能力向上を図っている。



トーストマスタースクラブは、スピーチ能力を身につけるため、八十年ほど前に設立された世界最大の非営利教育機関で、現在、世界九十九カ国で二十万以上の人が学んでいるという。

会長を務める近藤さんや、副会長の梅本和正さん、清水浩さんらが職場や学校でコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけたいと四半前にクラブを結成した。例会は①テーブルトピ

毎月一回の例会開催、メンバーのスピーチを収録する動画の撮りなど

ック(即興スピーチ)の事前に準備したスピーチ②論評③へのアドバイスや評価④の三つを中心に進める。

近藤さんらは、スピーチが上達するコツについて「場数を踏む」と。そして一番大切なのは志を同じくする仲間からアドバイスをもらうことと

また、幼稚園長を務める清水さんは「コミュニケーションの不足がいじめや暴力など多くの社会問題を引き起す要因の一つになっているので」と話し、二語に練習しませんか」とクラブへの参加を呼びかけている。

例会は毎月第二火曜日午後七時二十分から同九時まで、上尾市文化センターで開いている。問い合わせは清水さん(☎090・22201・8888)へ。